

# 浅海定線調査結果(令和2年7月7日)

福岡県水産海洋技術センター—豊前海研究所

## 1. 観測結果

		令和2年7月	平年値との差 (平年値)	昨年7月との差 (昨年7月観測値)
水温 (°C)	表層	23.8	- 0.1 (23.9)	+ 0.1 (23.7)
	底層	22.8	+ 1.4 (21.4)	+ 0.3 (22.5)
塩分 (PSU)	表層	28.70	- 1.44 (30.14)	- 3.70 (32.40)
	底層	31.93	- 0.20 (32.13)	- 0.98 (32.91)
透明度 (m)		2.9	- 1.5 (4.4)	- 2.3 (5.2)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。  
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

## 2. 概況

### (1) 水温

・表層は平年並、底層はやや高めでした。

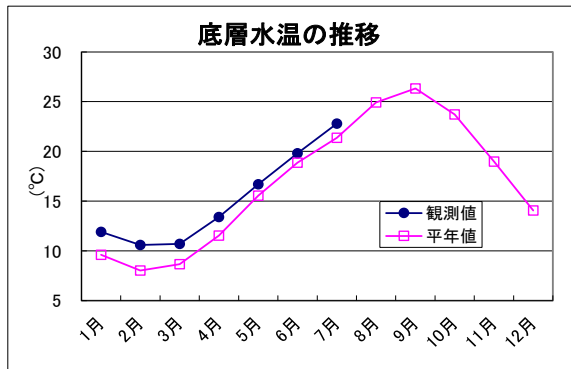
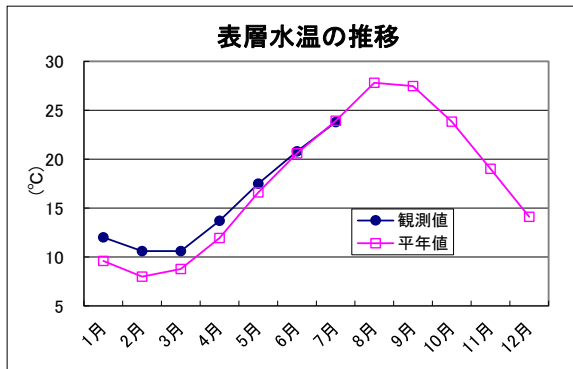
### (2) 塩分

・表層はやや低め、底層は平年並でした。

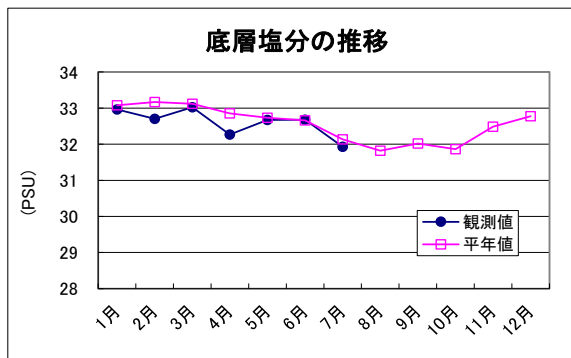
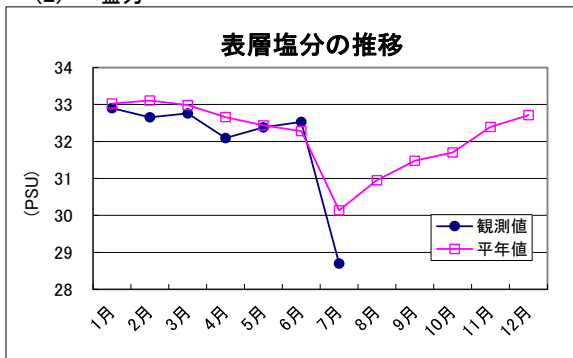
### (3) 透明度

・透明度はかなり低めでした。

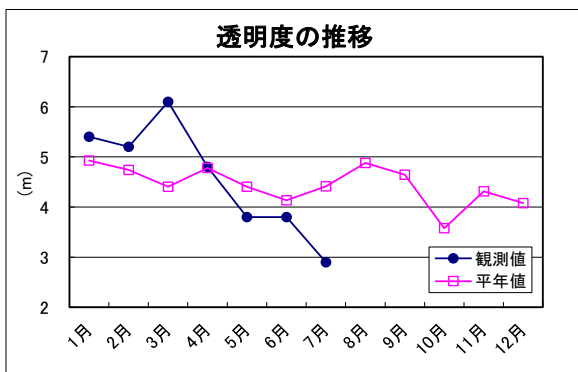
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色や貧酸素の海域は見られませんが、中南部の沿岸域では豪雨に伴う出水による海水の変色が確認されました。
- ・ 南部地先からシーバースにかけての海域では流木や小枝、葦などの河川ゴミが蜻集した場所が見られました。
- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。

